

[3] 公開本数など

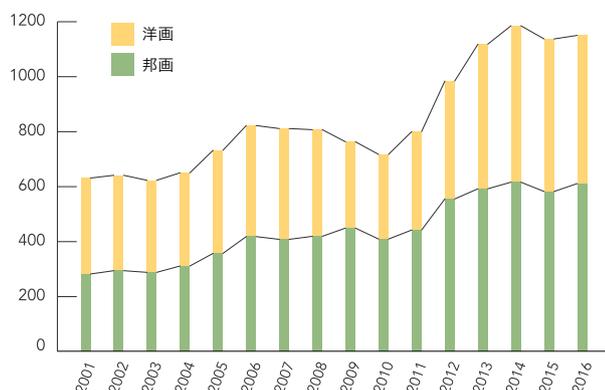
■公開本数の推移(2001~2016)

2000年代の初めまで600~650本を推移していた公開本数は、2000年代後半に急激に増加している。2004年649本→2005年731本→2006年821本と、1年間に100本近く増えた後、3年間は落ち着いた推移となり、2010年には716本となるが、2011年に799本、2012年983本とまた、急激に増加している。2014年に1184本に達した後、2015年1136本、2016年1149本と、2013年以降、公開本数は1100本以上が続いている。

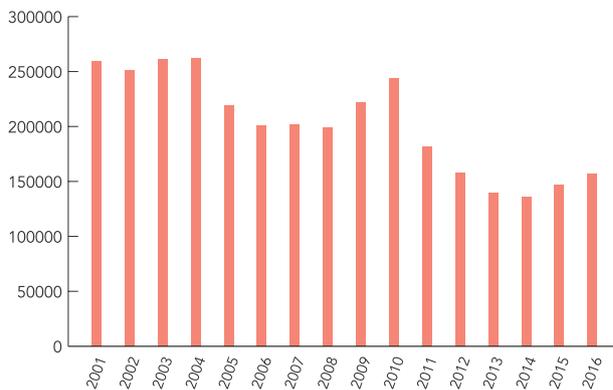
デジタル技術の導入によって、映画の制作予算が低廉化したことに加え、映画を教える大学や専門学校が増えたこと、公的な製作支援システムが整えられていったことなどが日本映画の製作本数を増加させていると思われる。スクリーン数も、2001年の2585スクリーンから2016年の3472スクリーンと900スクリーン近く増加しており、多スクリーンをもつシネコンでは、これらのスクリーンを埋めるための多くの作品が必要となるため、邦画だけではなく、洋画の公開本数も増加している。

しかし、この間の観客数は、ほぼ横ばいであり、単純に総観客数を作品数で割って得られる1作品当たりの観客数は、2005年の21万9498人から2014年には13万6078人にまで減少している。

公開本数の推移(2001~2016)



1作品あたりの観客数(2001~2016)



公開本数/1作品あたりの観客数の推移(2001~2016)

	邦画	洋画	合計	邦画	洋画	観客数	1作品当たりの観客数
2001	281	349	630	45%	55%	163,280,000	259,175
2002	293	347	640	46%	54%	160,767,000	251,198
2003	287	335	622	46%	54%	162,347,000	261,008
2004	310	339	649	48%	52%	170,092,000	262,083
2005	356	375	731	49%	51%	160,453,000	219,498
2006	417	404	821	51%	49%	164,585,000	200,469
2007	407	403	810	50%	50%	163,193,000	201,473
2008	418	388	806	52%	48%	160,491,000	199,120
2009	448	314	762	59%	41%	169,297,000	222,175
2010	408	308	716	57%	43%	174,358,000	243,517
2011	441	358	799	55%	45%	144,726,000	181,134
2012	554	429	983	56%	44%	155,159,000	157,842
2013	591	526	1117	53%	47%	155,888,000	139,560
2014	615	569	1184	52%	48%	161,116,000	136,078
2015	581	555	1136	51%	49%	166,630,000	146,681
2016	610	539	1149	53%	47%	180,189,000	156,822

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

■興行収入の推移(2007~2016)

2010年、「2000年代に入って最も高い興行収入」である2207億円を記録した後、2011年には東日本大震災の影響もあって812億と大きく数字を落とすが、2012年以降、徐々に回復し、2016年は大ヒット作にも恵まれ、2010年を上回る2355億円となっている。

1990年代から2000年代の初めにかけて、洋画(外国映画)の興収が邦画を大きく上回る60%~70%を占める状況が続いたが、2000年代の後半になるとその割合が逆転、2012年には邦画(日本映画)のシェアは66%に達している。2014年には『アナと雪の女王』の大ヒット、2015年には『ジュラシックワールド』『ペイマックス』のヒットなどがあって洋画が盛り返しているが、2016年は、『君の名は。』『シンゴジラ』のヒットなどで、日本映画のシェアは63.1%となっている。2016年の興行収入が10億円以上の作品をみても、日本映画が42本で、外国映画の19本を大きく上回っている。



興行収入(億円)

	興行収入		シェア		合計
	邦画	洋画	邦画	洋画	
2007	946.45	1037.98	48%	52%	1,984
2008	1158.59	789.77	59%	41%	1,948
2009	1173.09	887.26	57%	43%	2,060
2010	1182.17	1025.21	54%	46%	2,207
2011	995.31	816.66	55%	45%	1,812
2012	1281.81	670.09	66%	34%	1,952
2013	1176.85	765.52	61%	39%	1,942
2014	1207.15	863.19	58%	42%	2,070
2015	1203.67	967.52	55%	45%	2,171
2016	1486.08	869	63%	37%	2,355

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

2016年興行収入10億円以上作品 [邦画]

順位	公開月	作品名	興収 (単位:億円)	配給
1	8月	君の名は。	235.6	東宝
2	7月	シン・ゴジラ	82.5	東宝
3	4月	名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)	63.3	東宝
4	15/12月	映画 妖怪ウォッチ エンマ大王と5つの物語だニャン!	55.3	東宝
5	7月	ONE PIECE FILM GOLD	51.8	東映
6	1月	信長協奏曲 ノブナガコンツェルト	46.1	東宝
7	3月	映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生	41.2	東宝
8	3月	暗殺教室～卒業編～	35.2	東宝
9	15/12月	orange - オレンジ -	32.5	東宝
10	9月	映画 聲の形	23	松竹
11	6月	植物図鑑 運命の恋、ひろいました	22	松竹
11	10月	デスノート Light up the NEW world	22	WB
13	7月	ポケモン・ザ・ムービー XY&Z ボルケニオンと機巧(からくり)のマジアナ	21.5	東宝
14	4月	映画クレヨンしんちゃん 爆睡!ユメミーワールド大突撃	21.1	東宝
14	7月	HiGH & LOW THE MOVIE	21.1	松竹
16	15/12月	母と暮せば	19.8	松竹
17	5月	64-ロクヨン-前編	19.4	東宝
18	6月	64-ロクヨン-後編	17.4	東宝
19	3月	ちはやふる -上の句-	16.3	東宝
20	4月	アイアムアヒーロー	16.2	東宝
21	1月	さらばあぶない刑事	16.1	東映
21	9月	怒り	16.1	東宝
23	11月	この世界の片隅に	15.7※	東京テアトル
24	8月	後妻業の女	15.2	東宝
25	6月	TOO YOUNG TO DIE !若くして死ぬ	15.1	東宝 / アスミック・エース
26	11月	ミュージアム	15	WB
27	8月	ルドルフとイッパイアッテナ	14.6	東宝
28	9月	四月は君の嘘	14.2	東宝
29	3月	僕だけがいない街	14	WB
30	3月	家族はつらいよ	13.8	松竹
31	5月	殿、利息でござる!	13.7	松竹
32	3月	エヴェレスト 神々の山嶺	12.6	東宝 / アスミック・エース
33	8月	青空エール	12.5	東宝
34	2月	黒崎くんの言いなりになんてならない	12.3	ショウゲート
34	5月	世界から猫が消えたなら	12.3	東宝
36	4月	ちはやふる -下の句-	12.2	東宝
37	15/12月	杉原千畝 スギハラチウネ	12.1	東宝
37	5月	オオカミ少女と黒王子	12.1	WB
39	10月	HiGH & LOW THE RED RAIN	11.8	松竹
40	9月	超高速!参勤交代リターンズ	11.6	松竹
41	10月	何者	10.7	東宝
42	4月	遊戯王 THE DARK SIDE OF DIMENSIONS	10	東映
42	6月	貞子 vs 伽椰子	10	KADOKAWA
合計			1151.3	

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

2016年興行収入10億円以上作品〔洋画〕

順位	公開月	作品名	興収 (単位:億円)	配給
1	15/12月	スター・ウォーズ/フォースの覚醒	116.3	WDS
2	4月	ズートピア	76.3	WDS
3	7月	ファインディング・ドリー	68.3	WDS
4	8月	ペット	42.4	東宝東和
5	2月	オデッセイ	35.4	FOX
6	15/12月	007 スペクター	29.6	SPE
7	7月	アリス・イン・ワンダーランド/時間の旅	27.8	WDS
8	7月	インデペンデンス・デイ:リサージェンシ	26.6	FOX
9	4月	シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ	26.3	WDS
10	8月	ジャングル・ブック	22.1	WDS
11	6月	デッドプール	20.4	FOX
12	3月	バットマン vs スーパーマン ジャスティスの誕生	18.6	WB
13	9月	スーサイド・スクワッド	17.6	WB
14	3月	アールと少年	17	WDS
15	10月	インフェルノ	15.4	SPE
16	10月	ジェイソン・ボーン	15.1	東宝東和
17	9月	ハドソン川の奇跡	13.5	WB
18	8月	ゴーストバスターズ	12.4	SPE
19	4月	レヴェナント:蘇えりし者	10.8	FOX
合計			611.9	

2016年興行収入上位20作品

順位	公開月	作品名	興収 (単位:億円)	配給
1	8月	君の名は。	235.6	東宝
2	15/12月	スター・ウォーズ/フォースの覚醒	116.3	WDS
3	7月	シン・ゴジラ	82.5	東宝
4	4月	ズートピア	76.3	WDS
5	7月	ファインディング・ドリー	68.3	WDS
6	4月	名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)	63.3	東宝
7	15/12月	映画 妖怪ウォッチ エンマ大王と5つの物語だニャン!	55.3	東宝
8	7月	ONE PIECE FILM GOLD	51.8	東映
9	1月	信長協奏曲 ノブナガコンツェルト	46.1	東宝
10	8月	ペット	42.4	東宝東和
11	3月	映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生	41.2	東宝
12	2月	オデッセイ	35.4	FOX
13	3月	暗殺教室〜卒業編〜	35.2	東宝
14	15/12月	orange - オレンジ	32.5	東宝
15	15/12月	007 スペクター	29.6	SPE
16	7月	アリス・イン・ワンダーランド/時間の旅	27.8	WDS
17	7月	インデペンデンス・デイ:リサージェンシ	26.6	FOX
18	4月	シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ	26.3	WDS
19	9月	映画 聲の形	23	松竹
20	8月	ジャングル・ブック	22.1	WDS
合計			1137.6	
2016年興行収入			2355 (億円)	
興収10億円以上作品			1763.2	
割合			75%	

■興行収入が10億円を超える映画

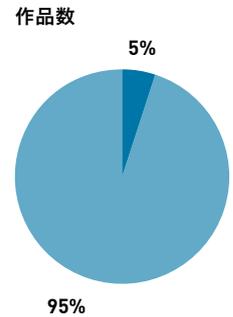
興行収入が10億円以上を越える映画はどのくらいあるのかをみると、2016年は邦洋合わせると61本である。これは、全公開本数1149本の5.3%となる。この61本の興行収入を合わせると、約1763億円となる。これは、全興行収入の約74.8%である。

1年間に公開される作品のうち、61本(5.3%)の映画が、全興収の74.8%を稼いでいるということで、逆に言うと、61本以外の94.7%(1088本)の映画で、全興収の25%(592億円)を分け合っているということになる。この10年間、この割合には大きな変化はみられない。

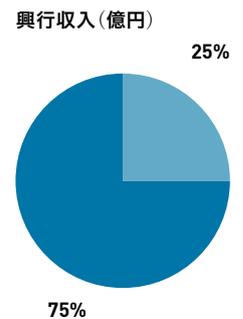
しかし、公開本数が非常に増えているため、興行収入10億円以下の作品の1作品当たりの興収の平均は、2007年で6535万円、2009年8865万円、2010年9431万円であったのに対して、2012年以降は、2012年6071万円、2013年5306万円、2014年5806万円、2015年5358万円、2016年5441万円とかなり減っている。

興行収入10億円以上の映画/興行収入10億円以下の映画

作品数	全体	10億円以上				それ以外	
		邦画	洋画	本数	割合	本数	割合
2007	810	29	22	51	6.30%	759	93.7%
2008	806	28	24	52	6.45%	754	93.5%
2009	762	34	23	57	7.48%	705	92.5%
2010	716	29	19	48	6.70%	668	93.3%
2011	799	32	22	54	6.76%	745	93.2%
2012	983	39	20	59	6.00%	924	94.0%
2013	1117	35	21	56	5.01%	1061	95.0%
2014	1184	18	31	49	4.14%	1135	95.9%
2015	1136	39	22	61	5.37%	1075	94.6%
2016	1149	42	19	61	5.31%	1088	94.7%



興行収入(億円)	全体	10億円以上				それ以外	
		邦画	洋画	本数	割合	本数	割合
2007	1,984.4	730	759	1489	75.0%	496	25.0%
2008	1,948.4	885	559	1444	74.1%	504	25.9%
2009	2,060.4	833	602	1436	69.7%	625	30.3%
2010	2,207.4	848	730	1577	71.5%	630	28.5%
2011	1,812.0	690	623	1313	72.4%	499	27.6%
2012	1,951.9	781	610	1391	71.3%	561	28.7%
2013	1,942.4	861	518	1379	71.0%	563	29.0%
2014	2,070.3	822	590	1411	68.2%	659	31.8%
2015	2,171.2	898	697	1595	73.5%	576	26.5%
2016	2,355.0	1151	612	1763	74.9%	592	25.1%



「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照